



今回お話を伺った  
西尾 道子さん

今回はご入居されて3年目の西尾道子様（76歳）にお話を伺いました。

### 「二人になってからも夫婦」

主人とは人の紹介で出会いました。「外のことは男がする、家の中のことは女がする」という考えの人で、一生懸命働いてくれて、私は家の中のことをして自由にさせてもらっていました。二人でよく旅行に行きました。私は露天風呂が大好きで、全国の温泉地によく行ったものです。蔵王の雪景色の露天風呂なんて最高でした。

夫婦というのはいつでも夫婦です。二人一緒にいた時はもちろん、主人が亡くなって一人になってからもやっぱり夫婦。今も主人への感謝の気持ちは変わりません。旅行には主人の数珠を加工したブレスレットをして行きます。二人でここに来たな、あの時一緒にこんなこと話したな、と思いだし、一人で来ているけれどいつも一緒にいるのだなと感じます。些細なことの積み重ねが今の自分につながっていて、それは夫婦二人でいた時間があってこそ。

一人になってからも支えられています。  
今、夢中になっていること

好奇心が強いんでしようね。興味をもったことはやってみてみたいと思います。今はパステル画やハンドベルを習っていて、太極拳や古典文学の講座にも参加しています。

なかでも歌舞伎や宝塚が好きです。宝塚は最近DVDで観ることも多いですが、歌舞伎はやっぱり実際に観に行きます。歌舞伎の衣装やお化粧は、あの空間で観るのが一番ですし、場面の全体が見えると、メイン以外の役者さんの動きもわかり、お話がより深く理解できます。歌舞伎と宝塚、どちらも伝統があり、舞台や衣装が華やかで、立ち居振る舞いが魅力的。男性だけ、女性だけでその役の「らしさ」を表現するために一つひとつの動作に全部意味があり、そこに魅力を感じるのですようね。

入居してからは新しく麻雀も始めました。サークルの先輩方に教わっています。初心者ですが、自分が捨てた牌であがられたら悔しいですし、良い手を揃えてあがるのは気持ち良いです。どの役を狙ってどれを捨てようか、相手は何を待ってるか？駆け引きもおもしろいですよ。早く皆さんのレベルに追い付きたいです。

これからもおいしいものを食べたい

もともと、食べるのが好きでした。衣食住のなかの衣と住はそれなりで我慢できても、食は体を、自分を作っているもの。美味しいものは体にもよいものでなければと思います。

素材の味を活かした料理なんて魅力に思いますね。昔近所の農家の方からエンドウマメをよく頂きました。自然の採りたてのものは全然違います。主人は豆が好きだったのでよく豆料理を作りましたが、素材の味を大切に、と考えて料理していました。

そんな私が今はまっているのは、美食巡りの講座。ほとんど毎日食べ歩きをしているプロのフードライターの先生が、毎月お店を選んで連れて行ってくれます。最近行った梅田の日本料理



選ぶお店は一つ  
ならの魅力  
プロの講座  
食の

店も、素材の味を引き立てるのにこだわったお店でした。見た目も繊細で、とてもおいしかったです。自分では知る機会も無かったよ。うなお店に行けるのが嬉しいですね。おいしいものを食べてる時というのは本当に幸せです。これからももっとおいしいものを食べたいです。